

## ①経営体の概要

- 所在地：長崎県壱岐市
- 経営体名：株式会社野元牧場
- 経営規模：繁殖牛180頭、肥育牛250頭
- 従業員数：役員3人、社員5人、パート(土日のみ)2人

## ②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 商品名：ウェアラブルデバイス「Farmnote Color」  
クラウド牛群管理システム「Farmnote」  
企業名：株式会社ファームノート

- 商品名：養牛カメラ  
企業名：株式会社ネットカメラ



## ③導入の経緯

- 点在する牛舎は住居と離れており、夜間に牛の状態を把握することができなかった。労力を軽減しながら、この状況の改善を図りつつ、繁殖そのものの成績も向上させたかった。



## ④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- 有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業

## ⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- Farmnote
  - ・ 関連するデータにより、発情の兆候を的確に把握することができる。また、体調が悪い牛を早期に発見することができる。
  - ・ 様々な情報のリストを自在に作成することができ、そのデータを社員と共有できるようになった。  
若し社員にとっては、解析されたデータを見ることにより繁殖についての知識を深め、繁殖についての判断力をつけることができる。
- 養牛カメラ
  - ・ 監視能力が向上したことにより、分娩事故の減少に貢献した。
  - ・ 特に夜の見まわり回数が減り、また、人が立ち会わなければいけない分娩かどうかの判別を、現場に行かなくてもスマートフォンで確認できるようになった。

## ⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- Farmnoteと養牛カメラが連携して、分娩の状態まで正確に判断できるようになれば、さらに効率的になる。
- 将来的には、正常分娩か異常分娩かを事前に把握できる機器があれば、繁殖農家にとってさらに大きなメリットとなる。

